

司法試験予備試験 答案練習会 特別講演

『予備試験勉強法』

千葉智達

自分の勉強法

- ①基本書を読む・講座を受ける
—イメージを掴むためとりあえず1周
- ②短答を解く
—だいたい論点を把握
- ③予備試験の過去問を解く
—答案の型を作る
- ④問題集をやる(読むだけ)
—論述で問われる論点やその処理方法を知る
- ⑤答練や問題集で問題を解く
—自分のできていないところを把握し改善する

答練の利用の仕方

受ける→自分の答案を分析する→できていないところを改善する

・どのように分析するか

→点数が取れないパターンを把握する

→自分がどれにあたるか考える

○点数が取れないパターン

1 論点を拾えていない(採点表で点数が0である場合)

(1) 論点を知らない

※始めたばかりの人はだいたいこのパターン

(2) 論点を知っていたが拾えない

ア 論点を理解できていない

※どの要件との関連で問題となる論点か意識できていない場合が多い

イ 理解できているにも拘わらず気付けなかった

※できているつもりであったのにFである人はたぶんこれ

2 論点を拾えているが点数が低い

(1) 形式の問題

ア 答案の型ができていない

(2) 内容の問題

ア 規範ができていない

イ あてはめができていない

・改善方法

1 論点を拾えていない

(1) 論点を知らない

→基本書や問題集をやって知識を増やす

(2) 論点を知っていたが拾えない

ア 論点を理解できていない

→基本書や百選で勉強し直す

イ 理解できているにも拘わらず気付けなかった

→①解き方に問題がある場合が多いため、解き方を考え直す(論点主義的なやり方をしている等)

ex.その場で考えて解くようにする

※受かっている先生に解き方を聞くのも良い

②よく出る論点を問題集でひたすら解く

※時間がかかるためあまり良い方法ではない

2 論点を拾えているが点数が低い

(1) 形式の問題

ア 答案の型ができていない(三段論法ができていない等)

→①人に見てもらう

②参考答案等を見ながら解いて答案の型を作る

(2) 内容の問題

ア 規範ができていない

→基本書等で確認する

※ノート等のまとめるものがあると改善しやすい

イ あてはめができていない

→人の答案を見て学ぶ

ex.拾っている事実の量, 評価の仕方等

※これもノート等にまとめると良い(特に刑事系)

考える勉強法について

※内容については色々な人が既に話しているので省略

・このやり方の利点

→①上の1(2)イのパターンだとこれで改善できることが多い

→長期間勉強を続けている人はこれで受かりやすくなる

②暗記の量をかなり減らせるため, 上の1(1)や2(2)アの改善が楽になる

→時間に余裕ができてやりたいことをやれるようになる, 早期合格に繋がる

- ・これをどの程度意識すべきか
 - 点数に伸び悩んだときに考えてみる程度が良い
 - ∴①合格後に振り返るとこれが重要だとは思いますが、合格前にこれを意識したことは特にない
 - ②ほとんどの人は自然とこれができてる

使った問題集

○短答

- ・短答過去問パーフェクト(3~5周くらい)
- ・肢別本(1周)

○論述

- ・スタンダード100(1周もやっていない)
- ・えんしゅう本(1~2周)
- ・A 答案ぶんせき本

2018年11月25日

千葉智達